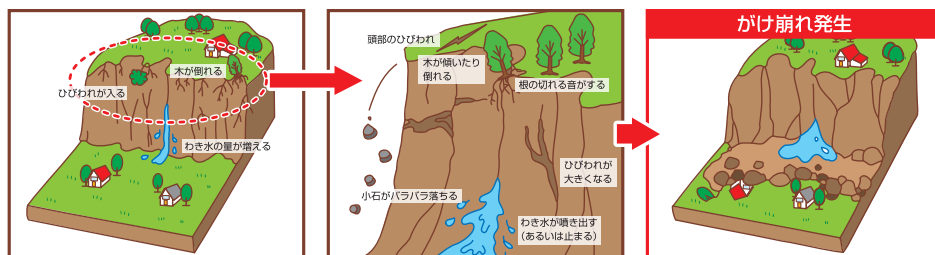


土砂災害について

土砂災害の種類

がけ崩れ

雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。



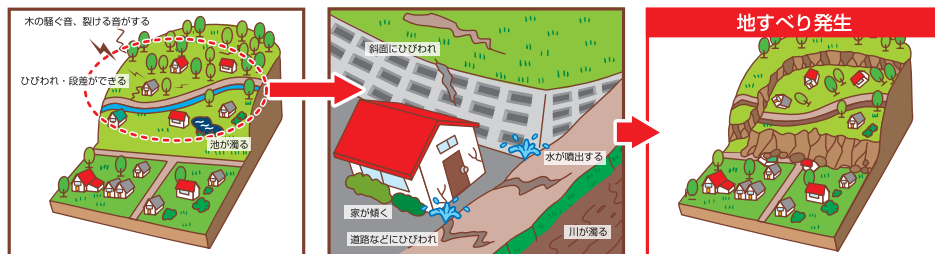
土石流

長雨や集中豪雨などによって山から崩れた石や土が、水と一緒になって、一気に下流へと押し流されることをいいます。



地すべり

地下水の影響と重力によってやや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたって、かたまりのまま移動する現象のことをいいます。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

土砂災害の警戒区域

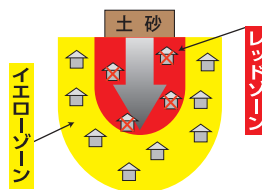
土砂災害防止法に基づき、北海道が調査を実施し、土砂災害のおそれのある区域を以下の通り指定しています。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

建物に破損が生じ、住民に大きな危険が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害のおそれがある区域



避難行動のポイント

土砂災害は突発性が高く、甚大な被害をもたらします。

上記の前兆現象は、経験則として土砂災害発生の前に感じられるものとして知られていますが、特に警戒区域内においては避難の猶予がほとんどないものと考え、「様子がおかしい」と感じたら、ただちに避難行動をとってください。

- 1 土砂災害警戒区域内、また指定が無くとも「谷の出口」や「がけの下」からは、いち早く避難する。

- 2 指定避難所までの移動が困難な際は、近隣の頑丈な建物の高い階へ避難する。



- 3 外出にも危険が伴う状況で、やむなく自宅に留まる場合は、2階以上の出来るだけ山側から離れた部屋に移動する。